

令和4年度 薬用作物産地支援 栽培技術研修 九州会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会
 受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者
 研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上
 研修実施場所： し〜ず・うみ（福岡県糟屋郡宇美町平和1丁目14-1） 多目的室1
 実施時期： 11月17日(木)～18日(金)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
11月17日 (木)	13:00- 13:20 (20分)	12:50現地集合 場所：宇美駅前 (JR九州香椎線) 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:20- 14:40 (80分)	[講義・現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	宇美町薬用作物生産部会の管理圃場における現地研修で、薬用作物の特徴、品質評価について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	藤木 匠	宇美町薬用作物生産部会 会長
	14:40- 15:10 (30分)	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	15:30- 16:30 (60分)	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	小柳 裕和	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班長
	16:50- 17:00 (10分)	移動(バス利用希望者) 研修会場→宇美駅			
11月18日 (金)	9:10-9:20 (10分)	移動(バス利用希望者) 宇美駅→研修会場			
	9:30- 10:20 (50分)	[講義] 薬用作物の栽培法と調製法について	ミシマサイコの栽培法及びミシマサイコ、トウキ、シャクヤクの調製法について、実際の生薬サンプルを示しながら解説する。	飯田 修	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター 客員研究員
	10:25- 11:25 (60分)	[講義] 薬用作物産地化の必要性和各薬用植物の栽培方法について	薬用作物の産地化方法について、成功・失敗事例を踏まえて解説する。	渥美 聡孝	九州保健福祉大学 薬学部 薬学科 准教授
	11:30- 12:00 (30分)	[講義] 宇美町における薬用作物生産の取り組みについて（仮題）	宇美町における薬用作物生産に関する地域・生産者の取り組みについて、産地作りのきっかけから現状と課題、今後の展望を紹介する。	入江 和美 藤木 匠	宇美町役場 環境農林課 宇美町薬用作物生産部会
	12:00- 13:00	昼休み			
	13:00- 14:30 (90分)	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:30- 14:50	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	
	15:10- 15:20 (10分)	移動(バス利用希望者) 研修会場→宇美駅			